



# もむ讀を字文 流風たま

## 平町に初めての 采朝活字...到着

此の活字のうまみは、典雅にして高尚！優佳にして自由！  
實に浴びた字相であります。

貴下の御名刺と  
御書状に御使用  
願ひ上げます。

.....(本見).....

織田家支配人  
木下藤吉郎

尾張國愛知郡中村  
電話掛無線電番

暑中御見舞申上候

常磐毎日印刷株式會社

平町長 橋町  
電話 六三〇番

## 夏枯を外に

### 炭鑛が活況

#### 夫々坑夫を募集

石城郡下の各炭鑛は夏枯れ  
季節を外に需要益々増加の  
一方なので坑夫を督勵して  
出炭能率を計つて居るがそ  
れでも間に合はず磐炭では

百名、入山では五十名の採  
炭夫募集を行つて居るが各  
町村匡救事業もそろそろ開  
始されたので志望者がなく  
て弱つて居ると

## 日歸り臨海學校

### 平第二小學校の生徒が

既報平第二小學校では來る  
八月四、五の兩日豊間村薄  
磯海岸に於て四年以上希望  
兒童の海濱學校を備すが兩  
日共午前五時半倉製糸會  
社前に集合の上出發午後五  
時歸宅する豫定にて海岸に  
於ける行事は海岸遊歩、日  
光浴、海水浴、磯遊び、燈

臺見學、陸上競技、水泳練  
習等である

### ラヂオ体操打合

既報來る八月一日より開如  
される平町ラヂオ体操の打  
合せ會は昨日午前十時より  
平第一校に於て開かれ種々  
協議したが役員は會長青沼

石城郡大野村藥王寺では近  
々中所藏の國寶その他書畫  
類を一般に展覽せしめるべ  
く西山恵町氏が世話人とな  
つて準備中である

## 藥王寺所藏の

### 國寶類を展覽

石城郡大野村藥王寺では近  
々中所藏の國寶その他書畫  
類を一般に展覽せしめるべ  
く西山恵町氏が世話人とな  
つて準備中である

## 漁港修築

### 個所指定

石城郡豊間村漁港修築工事  
の八年度事業として行はれ  
る東防波堤延長百廿米の工

## 再び繭價擡頭に

### 秋蠶の掃立増加

平蠶業取締支所管内に於け  
る初秋蠶の掃立は來月一日  
頃、晚秋蠶は九月十日頃よ  
り夫々開始されるが同支所  
及び蠶業組合では一時秋蠶  
相場の低價を見越し掃立の  
制限を奨勵したが最近再び  
繭市場は持直し四十掛を下  
らず桑葉の發育も其後順調  
なので再び掃立の増加を圖  
りつゝあり昨年の掃立數よ  
り一割餘の増加を來し七千  
枚に及ぶ模様であると

郡山臨海學校 郡山  
市安積中學校では來月二日  
より九日迄石城郡江名町小  
學校内に臨海學校を開らく  
と

教員會出席者 石城  
教員會にては今年十一月八  
日より三日間大阪市に於て  
第十回全國小學校教員會總  
會が開かれるので代議員五名  
を派遣すべく目下詮衡中

成績品展覽會 平第  
二小學校では本日全校兒童  
の今學期間成績品圖書書方  
手工品の展覽會を催した

## 平町人事

### 結婚

△西白河郡川崎村字ニツ堂  
二邊見庄一氏(三〇)白銀  
町五戸田初音(二八)

### 回死

△一丁目二九 當時仙臺市  
北三番町一六安田齡(六  
〇)

## 暑中御伺

磐城炭鑛株式會社

礦業所

入山採炭株式會社

鑛務所

古河炭鑛好間礦業所

小田炭鑛株式會社

萩原礦業所

片倉磐城製絲株式會社

東部電力株式會社

平營業所

平運輸株式會社

平驛前

有限責任  
信用組合  
平庶民金庫

福島貯蓄銀行平支店

平町田町(電話三〇八番)

# 犬の肉を

## 牛肉と偽る

### 各所の飼犬を撲殺 母を殴る

石城郡好間村大字中好間字馬場前二六居住無職鈴木清(三)は失業して食に窮した結果六月廿四日内郷村字町田館屋加藤清七方で飼育する雄犬一頭を撲殺し牛肉と偽り賣込んだのに味を占めて以来各地で飼犬の撲殺を業として昨廿七日同村宮山崎質店赤雌を撲殺したのを平署員に檢舉された

### 母を殴る

#### 説諭方願出

平町大工町一六居住眞藏次男高比良勝彌(三)は昨廿七日朝親母イト(四)が水を汲んで呉れと云つたのに腹を立て母親の顔面頭部等に全治一週間の打撲傷を負はしたとて母親から平署に説諭方を願出た

# 鮮魚満載の

## 自動車正面衝突

### 運轉手は幸ひに無事

石城郡小名濱町字中野二〇金成自動車店方運轉手堀部金吉(三)は去る廿六日午前十時頃トラック運轉して小名濱への歸途東白川郡宮本村字松川地内縣道で鮮魚を満載し小名濱より疾走し来た同町中町松原自動車店方運轉手小山茂(三)のトラックと正面衝突車體を大破し小山の積んで来た鮮魚を臺なしにしたが幸ひ兩運轉手共に無事であつたと

### 夏休圖書展覽

平第一小學校では来る九月七、

で本日全校生が登校校舎内外の大掃除を行ひグラウンドの手入れをしてラインを引くやら観覧席を設ける等非常な働きを演じた

### 赤十字の役員

平第一小學校長津田達造氏は同校少年赤十字團々長に、首席訓導金澤邦男氏は同副團長に此程日本赤十字團本縣支部より囑託されたが前團長佐藤一、副團長長谷川政の兩氏は斯業の爲め盡力した功に依り感謝状を賜られた

# 水喧嘩の

## 拳骨傷害科料

石城郡玉川村大字岡小名字前原二十四番地農小泉力(三)は去る三日同村小泉市郎君と我が田に水引く事から口論を始め拳骨で他人の顔面を突き全治約十日間を要する傷害を加へ科料十圓に本日平署裁判所に於て略

### ワカメ採取が

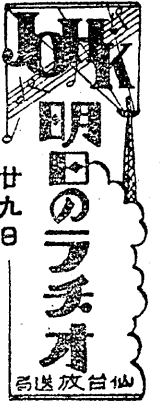
## 發覺して取調

### 組合が繁殖中のもの

石城郡小名濱町字中坪五九無職平光(三)は去る廿三日泉村字剣ヶ濱海岸で同地漁業組合が保護繁殖しつゝあつた若布數十貫時價十圓餘を採取した事發覺漁業取締の違反として目下平署で取調中

### 勿來農事講演

石城郡勿來町農會では廿八日午



明日の天気 今夜も明日も南西の風晴曇半す

### 今晚の部

後六〇〇 子供の時間 お話「地圖はかうして作る」園部部  
後六二五 将棋高段者手合(第五日)八段土居市太郎 木村義雄 解説八段

### 明日の部

前六三〇 歴史講座 前七三〇 夏期ドイツ語講座(三)三浦吉兵衛  
前九一〇 料理献立 前一一〇〇 家庭講座  
「四季の杜若の生花に就てのお話」(二)岡田廣山  
後〇〇五 俚語  
後二〇〇 俚語  
後二〇〇 婦人講座 阿佐美昌三

# 運轉手の免狀を

## 勝手に改竄して

### 営業中を檢舉さる

#### 失業を惶れて公文書變造

石城郡江名町字北町自動車業佐藤文治郎方運轉手大谷清(三)は昨年八月二十五日自動車運轉手試験をパスしてフォード乙種免狀を交付されたが其後同店ではフォード車を廢してシボレーを使用し始めた爲めフォード大谷は失業を怖れ免狀を勝手に改竄して就業中の事平署に探知され公文書變造の罪で目下取調中

### 赤坂翁が

## 出馬承諾

直ちに實戦準備

石城政友部會では過般幹部會を開いた結果來月十四日

### 納入が好成績

去る二十六日迄に納入すべき平町の上半期家屋税二萬六千

平職業紹介所報告  
回人を求める方  
漁業雑役 二十五才 月五六圓外面談(四倉町某)  
農業雑夫 三十迄 月十圓位外面談(四倉町某)

印刷物の御用命は總て  
常磐毎日印刷株式會社  
電話六三〇番

△留守番 三十五才 尋卒 月五六圓(双葉郡某)  
△女中 五十三才 高一修 給料面談(平町某)  
△商店雑役 二十四才 高卒 給料面談(飯野村某)  
△料理人 四十才 尋卒 給料面談(小名濱町某)  
△トラック助手 二十一才 乙商卒 給料面談(内郷村某)

# 銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第一回 血に飢ゆる村正

村正の弟子入り

此の度は日本妖刀傳を申し上る事になりまして、此の妖刀の中の大關横綱とも申すべきは仙吾村正でございます。徳川幕府の時代「村正の刀見當り候節は炭火を以つて焼き捨つべきこと」といふお達しがありました。尤も家康の父廣忠といふ方は家來の爲めに村正の刀で討たれ給ふた。又家康の長子岡崎三郎信康が切腹の時に用ゐたのが此の村正、又大阪合戦の時に真田幸村の伴大助幸泰が家康を刺さうとした時に持つてゐたのが矢張り村正の短刀であつたといふ。さういふ数々の事件からして徳川では村正の刀を恐れるやうになり、諸方に觸れを出して村正の刀を根絶やしにしようとしました。然し餘りに切れ味がよい刀であるから、空しく焼き捨てるのを惜んで長持の底に隠して置いたり或は神社佛間に奉納をしたりする者がありました。夫を又いろ／＼の動機から村正を知らずに持出して所持する者が、遂には身を亡し家を滅ぼし、多くの者を傷けたりするやうな事になつ

たのでございます。尤も妖刀は必ずしも村正に限つた譯ではございませぬが、村正としては所持する事が出来ないで村正の刀は銘を磨落して持つた者が多かつ



たので、無銘の刀で少し人を切つたり、何か間違ひがあるとおれは村正だと人が噂を致しました。で、今日より村正を始め数々の妖刀に因みたる講談を申し上げる事に致しますが、順序として村正の傳記より辨じます

抑も此の村正と申す人は伊勢國桑名の産、禁裡北面の侍といふから今日で申すと近衛兵でございませぬ。仙吾喜左衛門村義と云へる人の伴でございませぬ。仔細あつて父の村義は武士道を捨て妻の唐菊と共に、鎌倉の雪の下へ来て百姓になり、細々と暮してゐましたが、どういふものか夫婦の間に子供がない。そこで先祖から守護本尊としてゐる勢州桑名千手院の千手觀世音に祈願を掛けたる處、其の利益と見えて、延文の元年五月

から、両親の喜びは一方でない、學問を教へ、劍道柔道も教へると、何事によらずよく覺える、我々夫婦は不運にして斯様な處に隱遁して終つたが、此の子の代には必ず仙吾の家を興すであらうと、末頼母しく思つてゐると、當時鎌倉の源氏山といふ處にゐて、禁裡の御番鍛冶を勤めてゐる五郎寶龍齋正宗といふ人がゐる太郎は暇さへあると其の正宗の仕事場の前に来て鍛錬を致すのを見物してゐる、餘り熱心だからある日正宗

が「お前は熱心に能く來るが、そんなに刀を鍛つのが面白いのか」と尋ねると太郎の答へが「私は只面白いので拜見してゐるのでございませぬ、どうか小父さん私をお弟子にして下さい」

餘り太郎が熱心に頼むので正宗も感心をして、喜左衛門に話をすると「喜左衛門本人が夫ほど申すなら何うか御弟子にしてやつて下さい」といふ反辭、夫から正宗が手許に於て仕込む丁度三年目に、両親は太郎村正を正宗に頼んで鎌倉を引上げ故郷の勢州桑名へ歸つて了りました。正宗が村正に鍛錬の術を仕込と、實に能く覺えて忽ちの内に兄弟子を凌ぐ程の腕になつたが、どうも性來短氣で、夫が爲めに鍛へた刀に殺氣がみなぎつてゐるから正宗も夫を愛ひ、屢々意見をしますがどう

も直らない。ある年三月中旬相模川の邊の櫻が盛んだといふ事を聞いて正宗が弟子の正近、正吉、正兼、村正、正宗などを連れて櫻狩に出掛けられたが此の花見の當日、村正の生涯に大きな變動が起らうとは、誰も心附く者はなかつた。

美味で！  
評判の……  
イワキ  
サロン  
電 352

看護婦急派  
の求めに應  
じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

淋病 梅毒  
門專  
院醫科  
村松  
電話一七〇

外務社員採用  
初任固定給 月三十圓  
二十五才以上男女を問はず  
履歷書携帶左記へ面談。毎日午後  
平町田町一七  
レストランサロン方  
仁壽生命平駐在 吉田仁三郎  
電話三五二番

耳鼻咽喉科専門  
氣管食道科  
大和田醫院  
平南町 (電話一七〇番)

夏期中自動車料金値下  
夏期中沼ノ内、薄磯、豊間、江名方面  
行乗客の御便宜を計り左の通り料金値  
下げ致します。  
片濱料金金  
沼ノ内 二十五錢  
薄磯 二十五錢  
江名 三十錢  
四十錢  
片濱乗合營業者  
期間七月二十五日より八月三十一日迄

外科  
門專  
科線光X  
上田外科醫院  
平町南町  
電話一二九番